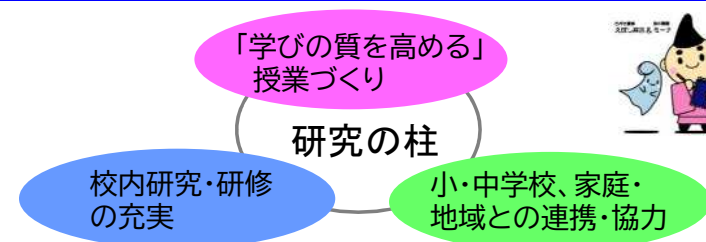


令和3年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業受託地区の取組【茅ヶ崎市】

研究テーマ	【研究のねらい】 ① 推薦研究校を対象とした本事業の割当【選択と集中】 ② 校内研究を中心とした授業改善と特色ある学校づくり【学びの質の向上と教育課程の創造】 ③ 研究成果の発信【独自性と共有】
未来を拓く力をはぐくむ学校教育の充実 ～学びの質を高める学校教育の充実～	



研究テーマ	小出小学校（平成30年度～令和3年度） 元気な学びを目指して ～小出の特色（地域教材）を生かした授業～	研究テーマ	柳島小学校（令和元年度～令和4年度） もっと知りたい！もっとやりたい！ ～協働的な学びを通じた意欲的に学ぶ児童の育成～
取組の成果	地域教材を扱うことで、学ぶ子どもたちが身近なもの・こと・人から学ぶことができ、主体的、協働的に取り組むことができた。	取組の成果	学年を研究母体として、研究を進めたことで、子どもたちの実態に合わせた授業づくりに取り組むことができた。
取組の課題	地域の教材を取り入れて授業を行っていく上で、「子どもに身に付けさせたい力」をより明確にした授業づくりを行っていく必要がある。	取組の課題	今後も多様な子どもたちを誰一人取り残さないための手立てを考えていきたい。
研究テーマ	浜須賀小学校（平成30年度～令和3年度） 深い学びがある授業を目指して ～考える力を育てる～	研究テーマ	小和田小学校（令和元年度～令和4年度） 一人ひとりの「考えたい」をふくらませる授業づくり
取組の成果	子どもたちが国語の授業を通して、自分の考えを持ち、対話的に学びながら自分の考えを深化できるようになってきた。	取組の成果	導入問題で“本質に迫り”かつ多様な考えを引き出せるよう課題を設定し、展開問題で今回の学びを“問い直す”ことを意識した授業づくりが行えた。
取組の課題	子ども自らが課題を持ち、自力解決していくことや、子どもが主体的に考えを深化できる発問の精選に課題が残った。	取組の課題	協同探究において、児童同士の考えを繋いだり問い返したりする等、本質に迫るための教師の在り方をより具体的に考えていくこと。
研究テーマ	鶴嶺中学校（平成30年度～令和3年度） カリキュラム・マネジメントの充実 ～主体的・対話的で深い学びにつなげる指導の工夫～	研究テーマ	菟園中学校（令和元年度～令和4年度） 学びの質を高める授業づくり ～各教科、各学級における目指す生徒像を見据えて～
取組の成果	生徒が見通しを持って取り組むことのできる授業展開を目指し、学校全体で単元計画や学びのプランについての共通理解を図ることができた。	取組の成果	研究テーマに「学級」を加えたことにより、職員全員で学級経営と授業づくりを関連づけて考えることができた。
取組の課題	以前に比べて、見通しを持って授業に取り組める生徒は増えた一方で、自分の考えを発表する活動に対して苦手意識を持つ生徒が多く見られる。	取組の課題	コロナ禍の影響で活動に制限が多い中、ICTの活用等の工夫によりどのように研究を推進していくか。

総括

地域教材の活用や児童・生徒の実態を踏まえた授業づくりなど、各学校の特色を生かしたアプローチにより、学びの質を高めるための授業改善等の取組が見られた。また、市の推薦研究校を対象に本事業を実施することにより、研究発表会において、その研究成果を市内全体に発信することができた。今後も、校内研究を柱とし、各学校の特色を生かした質の高い学び、学力の向上につながる教育課程の創造についての研究を継続していきたい。